



校章の由来

六角形の星と宮城県の宮で構成されている。

星は水産の水を表現したもので、全地域にはばたく水産健児の意気を示したもので、大正初期に制定されたものである。

校訓

向洋三心
尚志
創造
力行

校歌

県が浦に 生いたちて
 建学ここに 幾星霜
 久遠の歴史 固めつつ
 海の文化の 象徴と
 湾頭高く 輝ける
 おお 気仙沼向洋高

望めば遠し 太平洋
 金波は踊る 海の幸
 科学の力 傾けて
 宝庫開かん 使命こそ
 我等が担う 誇なる
 おお 気仙沼向洋高

世界にひびく 水産の
 誉れを挙げん 我等なり
 暖流遙か 南より
 盛り上り来る 八百潮の
 高鳴るごとく 讃えなん
 おお 気仙沼向洋高





これからのPTA活動

PTA会長 村上 真人

皆さん、こんにちは。会長の村上 真人です。本年度も引き続き会長を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願ひします。

以前のようなコロナ禍での学校生活とは違い、楽しそうに学校で学ぶ生徒の皆さんを見れることに喜びを感じている毎日です。自分の目標をしっかりと呼び、学校生活を送っている皆さんを見ると、色々なことを乗り越えて、がむしゃらに日々を送っていた自分の青春時代を思い出します。一度しかない人生ですから、笑顔で悔いの残らない学校生活を送ってほしいと願っております。

保護者の皆さんと共に、こんな時代だからこそ出来ることは何かを改めて考えることで、新たなPTA活動を企画し、皆さんが笑顔になれたら良いと願っております。また、校長先生をはじめ、学校に携わる方々と、少しでも良い学校にできるような微力ながら努めさせていただきます。PTAに携わって感じて

は、向洋高校の先生方は、子どもを第一に考え、生徒が自ら前に進めるように導いてくださっているのだなということ。世の中は不景気ですが、そのような世の中に立って行く生徒の皆さんに、温かく手を差し伸べてくださっています。私たちPTAも、先生方、生徒の皆さん共に、出来ることをやっていきたいと考えています。

PTA役員も日々、子ども達の学校の為に、陰ながら活動をしております。保護者の皆様におかれましても、ご自身のお子様の学校での生活に関心を持っていただき、更には、PTA活動にご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。また教職員の皆様、歴代PTA委員の方々が築きあげてきた、PTAの良い文化を途絶えさせぬように、力を合わせこの困難な局面を乗り越えていきたいと思ひます。本年度もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和6年・夏

校長 白幡 充

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。8月18日(日)にはPTA行事として校内美化運動を実施していただき、夏休み明け、きれいな環境で学校をスタートすることができました。美化運動に参加していただいた皆様、本当にありがとうございます。

今年度はコロナによる行動制限もなく、向洋生は4月から活き活きと学校生活を送っているように感じます。これまで行われた各種大会・発表会等では、ヨット部・相撲部・柔道部が東北大会に出場、若年者ものづくり全国大会「フリスディスク」職種で敢闘賞を受賞、今回初めて参加した「風に立つライオン基金」高校生ボランティア・アワード2024ではKSC(向洋語り部クラブ)が兼田賞を受賞するなど多くの活躍が見られました。

「風に立つライオン基金」高校生ボランティア・アワードには全国から152団体がエントリー。KSCは6月のオンライン活動発表交流会を経て、東京でブース発表を行う88団体の一つに選ばれ、より良い未来は自分たちの手で創る」という同じ志を持った全国の高校生と交流会を深めてきました。先日、「風に立つライオン基金」のホームページにアップされた大会サマリーを見てみると、ある体験談が目にとまりました。

た。2日目のシンポジウムにパネリストとして参加された小児科専門医・新生児指導医の寺澤大祐先生の体験談です。

「大学生の頃、日本のあちこちを自転車で走った。ほとんど野宿だったけれど、台風が近づいてきたことがあって、交番で相談したら警察署を紹介してくれて、警察のあるフロアで一晩寝させてもらった。翌朝おにぎりをくれて、お弁当も持たせてくれた。人ってこんなに優しいんだ。大人って優しいんだなと思った。困ったと言ったら助けてくれるんだと思った。その経験が今の活動に繋がっている。自分の足で歩けば(未来は)開けていく、誰かを頼れば必ず誰かが助けてくれる。生きていくことは、実はたまたま偶然の積み重なりなんです。」

警察署の方々の粋な計らい。そして、寺澤先生の大人に対する思い。素敵なエピソードだなあ〜と何度も読み返しながら、向洋生にも多くの人たちと出会い、感謝し、感謝される経験をたくさん積んで欲しいと思ひました。

校訓の一つ「尚志」を胸に秘め、力強く自分の道を歩む向洋生であって欲しい。その実現には、大人(おとな)としての「あるべき姿」が大きく関わっていると強く感じた夏の1コマでした。

2024年度
PTA活動

会長に村上真人さんを選任

2024年度PTA役員紹介

※敬称略
()内支部名等

会長 村上 真人 (大島鹿折)

副会長 工藤 恵 李 (大島鹿折)

同 菊田 弘文 (大島鹿折)

同 小野寺 みどり (面瀬)

同 昆 洋一 (教頭)

顧問 吉越 稔 (条南)

同 白幡 充 (校長)

監事 菊田 理 恵 (松岩)

同 千葉 しず江 (南三陸)

会計 吉田 優 志 (松岩)

同 熊谷 直 美 (階上)

同 熊谷 たつえ

(副参事兼事務室長)

唐桑支部長 齋 藤 順 子

大島鹿折支部長 村 上 裕 美

兼 幹 事 鈴 木 多 恵

気仙沼支部長 菅 原 裕 美

新月支部長 新 田 英 朗

条南支部長 菊 田 順 子

松岩支部長 菊 田 順 子

面瀬支部長 齋 藤 英 樹

階上支部長 谷 地 館 美 奈

本吉支部長 川 村 慎 太 朗

南三陸支部長 高 橋 和 恵

三学年委員長 菅 原 宏 志

委員 小野寺 智 美

二学年委員長 小野寺 勝 美

委員 三 浦 紀 子

委員 伊 藤 美 穂

一学年委員長 小 山 あ け み

委員 菅 原 早 苗

事務局長 小野寺 仁 一

事務局員 小野寺 隆 平

同 伊 比 卓 夫

同 小 松 英 夫

同 吉 田 愛 美

同 佐 藤 誠 也

同 畠 山 拓 也

同 長 田 梨 菜

健全育成委員会

委員長 菊田 弘文

今年度の健全育成委員会の活動内容を紹介させていただきます。活動内容は主に三つあります。

一つ目は、生徒、保護者、先生方と共にを行う学校美化運動です。気持ちよく学校を使っていただけじゃなく、そして向洋高校はきれいな学校と言われる様にしたいですね。

二つ目は、向洋祭PTAブースの設営、向洋祭に来ていただいた方々

専門部紹介

進路対策委員会

委員長 小野寺 みどり

今年度の進路対策委員会委員長を務めさせていただくことになりました。小野寺です。

進路対策委員会では、研修旅行の企画立案と開催当日のお手伝いを行う活動をしています。今年度も子供達の就職先となるような会社や工場の見学、進学先となるような学校の見学を検討しています。

広報調査委員会

委員長 工藤 恵李

本年度、調査広報委員長を務めることになりました工藤です。

当委員会の主な活動はPTA会報「こうよう」の作成で、年に2回発行し、PTA会員の皆様に配布しております。役員の方々には、原稿依頼や会報の最終チェックなど様々なご協力をお願いしています。保護者の皆様が学校に足を運ぶ機

に写真や映像を見ながら休憩出来るスペースを少しでも広く作っていきたいと思います。

三つ目は、一声運動です。やはり挨拶は基本になります。今年は少し形を変えての活動を予定しています。本会の目標でもありません無理のない活動範囲、形にとられない継続をコンセプトとして行けたらと思います。今年度もPTA活動にご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

私は本部役員になるまでPTA活動は正直苦しいものと思っておりましたが、熱意のある先生と気さくな役員の方のおかげで楽しく活動できるのではないかと感じております。

先生と保護者が楽しく情報交換できるような研修旅行を企画していきたいと思っておりますので、その際には是非ご参加してくださいませよう宜しくお願い致します。

会が少ないため、子ども達が学校でどのような授業や実習を行っているか、また部活動や行事での活動している姿などを、会報を通じてお届けできればと思っております。さらに、この会報を手元にずっと残しておきたい、何度も読み返したくなるものにし、向洋高校の魅力を広く知っていただけるような内容にしたいと考えています。

学校行事

4月8日
入学式



4月20日
PTA総会



5月11日
本吉支部総体



6月19日
防災学習



6月1日
VFC花の道45





7月1日
宮城丸体験航海



7月2日
インターンシップ
(S2,K2)



7月6日
本吉総文祭



7月16日
カッター実習
(J1,S1)



8月1日
若年者ものづくり
競技大会



2024 体育祭

～根性と気合いの 劇アツバトル～

球技種目

6月20日

ドッジボール、ソフトバレー、
バドミントン、バスケ (3on3)
卓球、フットサル

* 総合順位 *



運動会種目

6月21日

障害物競走、借り物競走、選抜リレー
玉入れ、綱引き、大縄跳び
部対抗リレー、科対抗リレー



J1



7月7日写真

J: 情報海洋科
S: 産業経済科
K: 機械技術科



S1



K1



J2



S2



K2



J3



S3



K3



令和6年度 10月2日 宮城丸出港式

情報海洋科在校生、
産業経済科2年生、保護者、学校関係
者が見守るなか、挙行されました。情報海洋科海洋類型
2年生19名と専攻科漁業科1年生3名が、長期航海に向けて気仙沼港を
出港しました。今年度はコロナ前同様ホノルルへの寄港があります。45日間の
実習を得て、大きく成長し元気に帰ってくることを待ち遠しく思います。

丸城宮
MIYAGI MARU





宮城県教育委員会
海洋総合実習船「宮城丸」の概要

- 【総トン数】 699トン
- 【全 長】 64.90メートル
- 【深さ(型)】 6.40メートル
- 【幅(型)】 10.10メートル
- 【国際総トン数】 999トン
- 【最大速力】 15.18ノット
- 【航海速力】 12ノット
- 【船 長】 大須賀 孝一
- 【乗 組 員】 19人



航海日程 (航海日数45日間)

- 10月 1日 乗船・停泊実習
- 10月 2日 出港式・気仙沼出港～石巻入港・操練 (退船)
- 10月 3日 積込作業 (燃料、食糧品、給水等)・操練 (避難訓練)
- 10月 4日 石巻港出港 操業海域へ向け航行
- 10月13日 マグロ延縄操業開始 (操業期間14日間)
- 10月26日 マグロ延縄操業終了
- 10月29日 ホノルル入港
- 11月 1日 ホノルル出港
- 11月14日 気仙沼港入港・水揚げ・下船式





高校生ボランティア・アワード2024

高校生ボランティア・アワード2024 ～共に生きる未来～

特別表彰 鎌田賞 受賞!

6月末に開催されたオンライン予選会で、152団体中見事88団体に選出され、8月6日・7日に東京で行われた全国大会に参加してきました。さらに、特別表彰である「鎌田賞」を受賞しました。参加した生徒からは、「さまざまな地域の特色を知ることができました。KSCのような活動が少ないこと、自分たちの活動がいかに貴重であることを改めて実感しました。これからも多くの方々に伝承館に足を運んで欲しい」と語っていました。



KSCとは?

Koyo Storyteller Club

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で語り部活動をしている高校生です。

主に月命日、団体客への語り部を行っています。





宮城県気仙沼向洋高等学校

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



向洋語り部クラブ

Koyo Storyteller Club (KSC)

高校生ボランティア・アワード2024

背景 東日本大震災で校舎全壊



宮城県気仙沼向洋高

震源地

- ・2011年3月11日
- ・マグニチュード9.0
- ・最大震度7
- ・死者・行方不明者2万人以上

旧 気仙沼向洋高校階上校舎 (現在は、気仙沼東日本大震災遺構・伝承館)

地上3階
高さ16m



2009年(私たちが生まれた頃)

2011年3月11日

2011年3月12日



2024年5月1日 新入生全員で伝承館へ

語り継いでくれる後輩達へ向けての語り部活動



現在の気仙沼向洋高校 (2018年8月~)

向洋生としての使命感

令和元年発足 全校生徒から有志を募って活動している向洋高校のボランティア組織。みんな別の部活も頑張りながら、現在7名で、放課後や休日に語り部として活動しています**私たちだからできることがあるはず!**

私たちの活動

主な活動場所：気仙沼東日本大震災遺構・伝承館

具体的な活動内容

- ・全国の修学旅行生、団体の方々への館内ガイド
- ・伝承館での各種イベントへの参加 (月一回)
- ・全国防災ジュニアリーダー育成研修会
- ・東日本大震災メモリアルDayへの参加
- ・地域の防災訓練での出前授業

関わった人たち

- ・震災を知らない世代や地域の方々
- ・伝承館に来館してくださったの方々
- ・大人の語り部さん
- ・地域の小・中学生
- ・気仙沼市全体の伝承活動を行っているの方々

私たちが伝えたいことは?



一般の来館者への語り部活動



防災学習で来てくれた高校生へ



地域防災訓練・階上小学校での防災教育講師

語り部を聞いてくれた人たちの声

「当時を改めて思い出すことができました。」「これから増えていく震災を知らない世代にも伝えていってほしい。」
「当時幼かった高校生の語り部は胸に来るものがある。自分に何が出来るか問いかけることができました。」

期待される未来

- ・防災を語り継ぐ・継承する活動を通して、防災意識・防災対応能力の向上を目指す。
- ・階上地域・気仙沼市の活性化につなげたい。
- ・災害で悲しい思いをする人をひとりでも減らしたい。

課題

- ・語り部活動の継承に向けて
- ・語り部の硬派なイメージの脱却
- ・これからは震災を知らない世代に・・・

展望

- ・SNSで活動風景の発信
- ・語り部が運営するイベントを企画
- ・震災の記憶を今後も世の中に広げていく
- ・自分の可能性を広げたい



伝承館での語り部
向洋新入生へ向けて

これからの活動に向けて

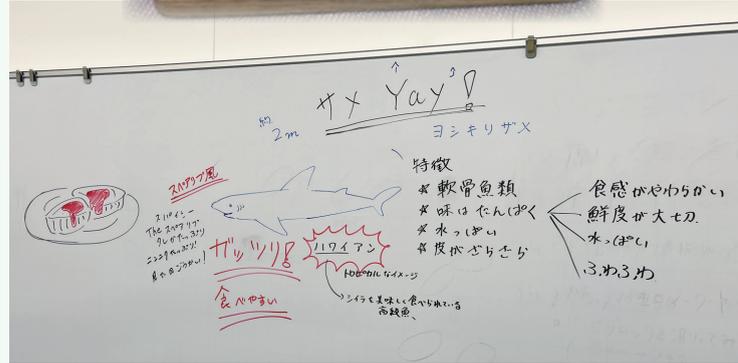
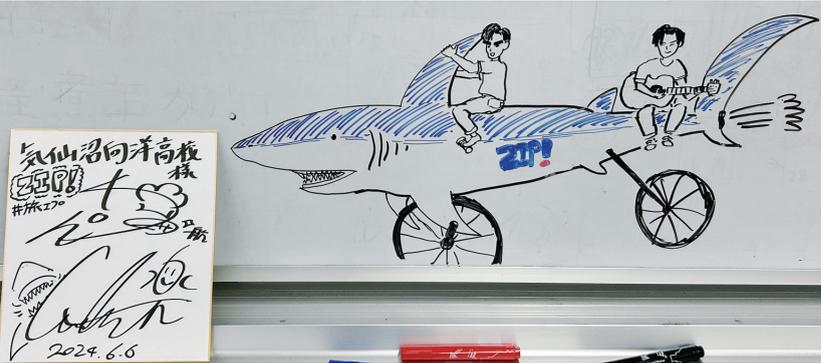
離れた地域に住んでいる人にも防災に関する知識を身につけ、関心を持ってもらうことができました。
東日本大震災の記憶を絶やさないためにも語り部一同、**これからも伝承活動を続けるぞ!**



産業経済科3年生が日本テレビ「ZIP!」の「旅するエプロン」に出演!

6月17日に日本テレビ「ZIP!」内の「旅するエプロン」に産業経済科3年生が取材され、放送されました。

サメのアレンジについて、サメのハワイアンスペアリブ風を考案していただきました。



「高校生地産地消お弁当コンテスト」ベスト18に選出!

産業経済科2年生が考案したお弁当が、93 作品中ベスト 18 に 2 作品選ばれました。また、「明日もさわやか笑顔～宮城の食材で HAPPY～」は最終審査会への出場が決定しました。



メニュー

けせんぬまーる
弁当

- 三色おむすび
- 大谷いものポテトサラダ
- カツオ大島ゆずがらめ
- スイートポテト
- シャークナゲット



メニュー

明日もさわやか笑顔
～宮城の食材で
HAPPY～

- 稲荷の炊き込みご飯
- メカジキの豆腐ハンバーグ
- ポテトサラダ
- パプリカの目玉焼き
- 大学いも

PTA活動記録

2024年度 PTA総会開催

4月20日（土）PTA総会を本校にて開催しました。

総会では、昨年度の事業や決算報告、今年度の事業計画案や予算案、役員選任についてなど、全ての議案が原案どおり承認されました。



8月18日（日）本校にて美化活動が行われました。生徒、保護者、職員合わせて約40名が参加し、生徒会館1F廊下、実習棟前渡り廊下、窓清掃を行いました。

皆様のご協力のおかげで、校内がとても綺麗になり、良い環境で始業式を迎えることができました。

ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。





第73回東北地区高等学校PTA連合会 山形大会



PTA事務局 小野寺 隆平

7月4日(木)・5日(金)の2日間、山形市を会場として山形大会が開催されました。本校PTAからは、村上市長、工藤副会長、小野寺(仁)事務局長、小野寺(隆)事務局の4名が参加してきました。

1日目は、ホテルメトロポリタン山形を会場として、情報交換会が開催されました。東北各県PTAの活動を知る良い機会となりました。

2日目は、やまぎん県民ホールを会場として、山形大会(大会テーマ「見つめよう、HOME ～世界へはばたく子どもたちへ～」)が開催されました。開会行事において、東北各県の功績者へ表彰状贈呈がありました。宮城県からは、前年度、各支部長を務めた6校のPTA会長が表彰されました。村上市長もその一人です。

開会行事後には、「未来を生きる子どもたちを育むための家庭・地域・学校の連携の在り方」をテーマとして、研究協議が行われました。各県代表の研究発表はとても素晴らしかったです。そのうち青森県立青森

西高等学校PTAでは、PTA実行委員会のOB・OGによって昭和42年に結成された「PTA同窓会」があり、活動を続けているとのことでした。昼食・休憩の後には、山形県立山形東高等学校マンドリン部の素敵な演奏を聴きました。

その後、講演が行われました。講師はマンジョット・ベディ氏(株式会社next's east 代表)による「Designing the NEXT Japan(次なる日本)と題して、とても熱のこもった講演でした。グローバルにおける日本の対置を考えたとき、未来にどんな可能性があるのか。「次なる日本」はどのようにデザインされていくのか。そのために、今一線で活躍する大人たちにとっても、これから生きる子どもたちにとっても、身につけておくべきことは何なのか。グローバルでもロケルでも活躍するクリエイターが熱くそのヒントを紐解いてくれました。

結びになりますが、このような機会を与えていただいた、本校PTA会員の皆様に厚く御礼申し上げます。





歴史の町で変革を!! ～新たな時代が目に入らぬか～
 第73回全国高等学校PTA連合会大会
2024茨城大会



主催：一般社団法人全国高等学校PTA連合会 主催：茨城県高等学校PTA連合会

第73回全国高等学校PTA連合会 2024茨城大会

PTA事務局 小野寺 隆平

8月22日(木)・23日(金)の2日間、茨城大会が開催されました。本校PTAからは、村上会長、小野寺(仁)事務局長、小野寺(隆)事務局の3名が参加してきました。

大会テーマは、「歴史の町で変革を!!」～新たな時代が目に入らぬか～。先行き不透明、予測困難な時代に突入するなか、この変化に対応していくためには、学校、家庭、地域においてどのような教育がとめられるのか。全国からの大会参加者(オンライン参加を含む)と共に研修しました。

大会1日目は、水戸市、ひたちなか市、小美玉市の5つの分科会会場に分かれての研修となりました。私たちは第3分科会(水戸市民会館)に参加しました。テーマは、「新・生きる力と家族の絆」(子どもの心に風邪を引かせない)。講師は石田千恵子氏です。密着26年の日本テレビ「7男2女11人の大家族 石田さんち」で知られる方です。皆さんもテレビ等を視聴し、ご存じの方が多くではないでしょうか。また、講師による講演やパネルディスカッション、グループトークなどを盛り込んだ内容の濃い研修でした。

大会2日目は、アダストリアみとアリーナをメイン会場に、全体会が開催されました。

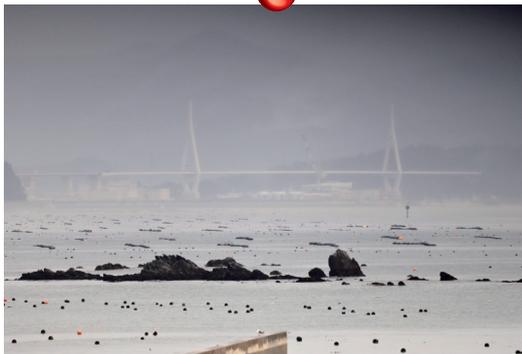
オープニングのアトラクションは、茨城県立大洗高等学校の生徒の皆さんによるマーチングバンド・ステージドリルで、華やかに幕を開けました。その後、開会行事や表彰式が行われました。また、記念講演が行われました。講師は、茨城県出身の二所ノ関 寛氏(第72代横綱 稀勢の里)。演題は「人材育成の不易流行」と題して、自身の体験を交えながらのとても良い講演でした。親方は、相撲を引退した後に早稲田大学大学院で、人事育成を研究したそうです。

結びになりますが、このような機会を与えていただいた、本校PTA会員の皆様方に、厚く御礼申し上げます。また、心より感謝申し上げます。



写真部がNHK「てれまさむね」の『撮っぺえ』コーナーで紹介されました！

8月28日に放送された「てれまさむね」で写真部が「気仙沼の夏の思い出」をテーマに写真を紹介しました。



雨の日の気仙沼湾横断橋



光る海



花開く



振って！

PTA会報「こうようNo.46」はいかがでしたか。今年度は、生徒・保護者・先生方も見てみたくなるような会報誌を目指して編集しました。皆さんに楽しんでいただければ幸いです。

委員会を開くことが難しい状況の中、原稿・写真提供などに快くご協力頂いた皆様に、心より感謝申し上げます。

この会報を通して、向洋高校の良さを伝えられればと思います。次回号もどうぞ期待ください。

調査広報委員会

編集後記



委員長	工藤 恵 李 (大島鹿折)
副委員長	菅原 裕美 (新月)
委員	谷地 館美奈 (階上)
委員	吉田 優志 (松岩)
委員	熊谷 直美 (階上)
委員	新田 英朗 (条南)
委員	小野寺 智美 (階上)
委員	菅原 早苗 (新月)
事務局	小野寺 仁一
事務局	長田 梨菜

※()内は支部名

PTA調査広報委員会